

会 議 録

- 1 会議名 令和4年度 第2回山形市清掃問題審議会
- 2 開催日時 令和4年10月17日（月） 午前10時30分から午前11時45分
- 3 開催場所 中央公民館4階 大会議室
- 4 次 第
 - (1) 開 会
 - (2) 市長挨拶
 - (3) 山形市一般廃棄物処理基本計画について（諮問）
 - (4) 議事録署名人の選出
 - (5) 審議
山形市一般廃棄物処理基本計画骨子案について
 - (6) その他
 - (7) 閉会
- 5 出席者
 - 【委員】 國方委員（会長）、山川委員、新藤委員、金澤委員（副会長）、福島委員、高見委員、原田泰浩氏（笹渕委員代理）、鈴木委員、佐藤委員、吉田委員、大場委員
 - 【幹事】 環境部長、環境課長、廃棄物指導課長、ごみ減量推進課長
 - 【書記】 ごみ減量推進課課長補佐、ごみ減量推進課循環型社会計画係長、減量推進係長、分別収集係長、循環型社会計画係員
 - 【生活排水処理基本計画関係】
廃棄物指導課課長補佐、廃棄物指導課一般廃棄物係長、施設係長、一般廃棄物係員
- 6 傍聴者数
一般傍聴者数 0名 記者数 1名
- 7 資 料
(別添資料1) 山形市一般廃棄物処理基本計画骨子案
(別紙1) 施策体系図
- 8 内 容 (3)～(6)
 - ・市長挨拶
本市のごみの現状は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業系ごみの排出量は減少した一方、家庭系ごみの排出量は増加傾向にある。また、生活排水処理については、現状、ほとんどの世帯が下水道や農業集落排水に接続し、あるいは合併処理浄化槽を使用しているが、一部単独処理浄化槽などの生活排水未処理の世帯が残っており、こうした世帯に下水道への接続を促し

ていくことなどが課題である。

こうした本市の状況を踏まえた効果的な施策を展開するため、新たな「山形市一般廃棄物処理基本計画」を策定することとした。

この計画により、市民・事業者の皆様と一体になった取り組みをさらに推し進め、持続可能な循環型の暮らしの実現を目指してまいりたい。

本日は、当計画の策定について諮問させていただき、委員の皆様には、それぞれのお立場からご意見を賜りますようお願いする。

- ・山形市一般廃棄物処理基本計画の策定について、市長から國方会長へ諮問があった。
- ・議事録署名人として、会長及び会長より指名された新藤委員が選出された。
- ・議長は会長が行った。
- ・（５）審議について、ごみ減量推進課長が資料に基づき説明を行った。

以下、質疑応答及び議事経過

・山形市一般廃棄物処理基本計画（骨子案）について

発言者	発言要旨
事務局	資料に基づき説明。
新藤委員	本日の差替え資料はどこが変更になったのか。
事務局 (ごみ減量推進課)	資料1 骨子案の1ページ目タイトル「山形市一般廃棄物処理基本計画 骨子案」に「2023年3月改定」が追加になった。
福島委員	山形市内のし尿処理についてはどうなっているのか。第1～第10地区では下水道整備が進んでいるが、郊外では未整備の区域が多いと聞いているが。
事務局 (廃棄物指導課)	市内ほとんどの区域は、下水道使用区域となっている。また、農業振興地域では農業集落排水が整備されている。下水道、農集排の区域では、新規の浄化槽設置は認めていない。その区域以外で、合併浄化槽の新設を認めている。
原田氏（県）	骨子案全体の組み立ては概ね良いと思う。 ①プラスチック資源循環促進法について、方針や対策等を入れていく予定はあるのか。現在サーマルリサイクルをしていると思うが、今後のマテリアルリサイクルへの転換についてどう考えているのか。 ②単独浄化槽は、市内に現在どのくらい残っているのか。 ③マンション等に設置される、ディスポーザーの設置は市として推奨する方向か。生ごみをごみとして排出するか、生活排水として排出するかの問題があると思うが、状況を把握しておられれば教えていただきたい。
事務局 (ごみ減量推進課)	①次期計画から中間見直し年度までの5年間を考えると、エネルギー回収施設ではサーマルリサイクルを継続することになると思うが、将来的にはプラスチック資源循環促進法に則したマテリアルリサイクルの検討も必要と考える。また、食品トレー等については、引き続きスーパー等での店頭回収の活用を市民に呼びかけ、マテリアルリサイクルを推進していきたい。

<p>事務局 (廃棄物指導課)</p>	<p>②令和3年度末時点で、市内約4500基の浄化槽のうち、単独浄化槽は約3500基と把握している。</p> <p>③ディスポーザーについて、ご指摘の懸案があることは把握しているが、今後の方向性については、上下水道部と検討中である。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>現在コロナ禍でごみの量が増えているが、今後新型コロナウイルス感染症の終息に対し、家庭系ごみや事業系ごみの量は戻ってくるのか。今後の計画としてどのように考えているのか。</p>
<p>事務局 (ごみ減量推進課)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症により新しい生活様式が確立されてきているが、数値等の説明は次回の審議会でお示ししたい。</p>
<p>大場委員</p>	<p>①SDGsの取扱いについて資料編に載せると説明があったが、市民の方は資料編まで見ることはなかなかないと思われるため、計画本編の中にも分かりやすく表記してはどうか。</p> <p>②今年7月に米沢市が県内で初めて「プラスチックゼロ宣言」をしている。山形市でも「ゼロカーボンシティ」を早い段階で宣言していると思うが、プラスチックについても是非検討して欲しい。</p> <p>③当面サーマルリサイクルを継続していく説明があったが、庄内地方の新しいごみ処理施設では、もやせるごみとプラスチックの分別をせず回収し、サーマルリサイクルをしていると記憶している。山形市はもやせるごみとプラスチックの分別はするけど、全て燃やしてエネルギーにする姿勢を全面的に出されると分別回収がなし崩しになってしまうので、市民の方には分別する理由などを伝えながら進めて欲しい。</p> <p>④(単独浄化槽等からの転換について) 施策に手詰まり感がある。広報や補助金だけで効果はいかがか。高齢化など、各世帯の事情が潜在すると考えられるが、もう一步踏み込んだ対策はお考えか。</p> <p>⑤合併処理浄化槽の不適正管理について、どのくらいの件数か教えてほしい。</p>
<p>事務局 (ごみ減量推進課)</p>	<p>①資料編のみならず、各施策の右上にSDGsのアイコンを載せる予定で検討している。</p> <p>②東北管内では青森県、福島県が既に宣言しており、県内では米沢市が7月に宣言をしている。他市の状況を確認し、調査、研究していきたい。</p> <p>③現在、もやせるごみとプラスチックは、ともにエネルギー回収施設で焼却しサーマルリサイクルしているが、プラスチック資源循環促進法の施行により、プラスチックについては将来的にはマテリアルリサイクルすることと想定されるため、もやせるごみとプラスチックの分別を継続する。市民に対しては、分別を継続する背景や趣旨を分かりやすく伝えながら、適正排出の協力をお願いしていく。</p>
<p>事務局 (廃棄物指導課)</p>	<p>④対策の件については、今後検討させていただきたい。</p> <p>⑤令和3年度の市内の法定検査受検率は約5割である。</p>

	<p>そのうち不適正と判定された浄化槽は、合併と単独浄化槽の合計だが 68 件あり、事後指導として文書を送付し、指導を行っている。</p>
吉田委員	<p>ごみ集積所に関して、場所は町内会が決められているのか。生ごみのカラスの被害が気になる。市役所でごみ集積所を設置してもらえないのか。</p>
事務局 (ごみ減量推進課)	<p>地域のごみ集積所は町内会での設置となっており、共同住宅に関しては管理者の設置となる。カラス被害対策としては、各町内会から依頼を受け、カラスネットの支給やカラス除けネットボックスの設置に係る補助金を交付し対応している。</p>
鈴木委員	<p>骨子案についてとても素晴らしいと思う。「第 2 章 地域の概要」を見ると、人口は減少しているが、世帯数の増加と連動しごみも増加しており、まさしく消費社会に警鐘を促す必要があると改めて感じた。</p> <p>ごみ処理過程での資源化は重要なことと考える。エネルギー回収施設（川口）は、廃熱を活用した足湯が付帯しており、ごみ処理において発生した資源を有効利用していることが、次の世代にも分かりやすく「見える化」されている。</p> <p>資源の有効利用について、今後何か「見える化」し、発信していく予定はあるか。</p>
事務局 (ごみ減量推進課)	<p>エネルギー回収施設（川口）では、ごみ処理や発電の流れを遊具等で示したり、発電後の廃熱を活用した足湯を提供することにより、資源循環に配慮したごみ処理を行っていることを広く発信している。</p> <p>引き続き施設を所管する山形広域環境事務組合と連携し、ごみ処理における資源の有効利用について分かりやすい情報発信を継続していく。</p>
高見委員	<p>審議委員の方々のごみに対する意識がとても高いが、市民目線で考えるとごみに対する意識には差がある。第 5 章の市民の役割の「ごみを出さないライフスタイルの定着」はなかなか難しい。</p> <p>分かりやすく簡単で悩まなくても出来るような施策を希望する。</p> <p>①山形県では、1 人 1 日あたりの家庭系ごみの量を 100g 減らすと一番ごみの少ない県に近づけるとあるが、山形市ではどのように削減量の目安等設定する予定なのか。</p> <p>②「市民の役割」をどのように定着させていく予定か。</p>
事務局 (ごみ減量推進課)	<p>①数値については次回お示ししたいが、山形市の実情に合った目標が達成できる数値を検討したい。</p> <p>②市民団体と連携しながら広報周知し、出前講座等を通して具体的な取組を市民へ浸透、定着させていきたい。</p>
金澤委員	<p>骨子案がとても分かりやすく良いと思うが、これから具体的に周知する際は、「野菜の皮まで全て使い切る」等のワンポイントアドバイスを市民目線で丁寧なすることで、より伝わると思う。</p> <p>千葉市の取り組みで、スーパーやコンビニエンスストアでごみ袋（50）をレジ</p>

	袋として購入し、そのままごみ出しに使用できるものがある。他県の情報も取り入れていって欲しい。
山川委員	①骨子案の「立谷川リサイクルセンターの発煙・発火状況」で平成29年から30年が2倍になっているのはなぜか。 ②火災の原因となるリチウムイオン電池内蔵家電の具体的な品目を知りたい。
事務局 (ごみ減量推進課)	①リチウムイオン電池の普及が原因と考えられるが、市報やHPで分別の周知をしており、ピークから比べると少しずつ発煙・発火件数が減ってきている状況である。 ②スマートフォンやコードレス掃除機、シェーバー等の充電式家電があげられる。
國方会長	・高見委員からもあったように、市民の方全員がごみの勉強をしているわけではない。普通に生活していても具体的に協力出来るような工夫をして欲しい。 ・プラスチックごみの問題に関しては、サーマルかマテリアルかなどリサイクルの方法の問題ではなく、回収されずに放置され、マイクロプラスチックとなり海に流され環境汚染に繋がるのが一番の問題と考える。どのような形であれ、適正に回収され、適正に処理されることが大事である。
新藤委員	①メルカリと包括連携協定を結んでいると思うが、進捗状況を教えて欲しい。 ②山形県のごみ1人あたりの焼却処理費用が東北一とあったが、いかがか。
事務局 (ごみ減量推進課)	①令和4年2月に㈱メルカリ・㈱ソウゾウと包括連携協定を結び、今年の5月に事業者を対象とした「メルカリ shop」の講座を開催した。市民向けの啓発としては、広報やまがたでリユースの手段としてフリマアプリ「メルカリ」の周知を行った。また、ごみ分別大百科のリユース関係のページを今年度改定する予定である。 ②二市二町構成する山形広域環境事務組合でごみ処理をしており、費用については、以前山形市直営で清掃工場を運営していた時とは単純比較が出来ない状況である。エネルギー回収施設では、熱エネルギーを活用した売電や資源化物の売却益を歳入とすることにより、処理に係る構成市町の負担額が軽減されている。
福島委員	カラスの糞が道路や電柱にある場合は、どこで清掃処理してくれるのか。
事務局 (ごみ減量推進課)	市道であれば市道路維持課、電柱であれば電力会社等の管理者が対応することになる。

・(6) その他について、事務局より今後のスケジュールの説明を行った。

以上